

雪がた



豊科病院広報誌

令和 5年 8月 30日 発行

発行者 豊科病院広報文化委員会

〒399-8205

長野県安曇野市豊科5777-1

Tel : 0263-72-8400

URL <http://www.shironishi.or.jp/>

豊科病院の理念

自他を問わず人間を愛し、慈しむ心を礎に、病める人、障害を持つ人、悩める人に常に自分の家族に接するように優しく接し、最良の医療・福祉サービスを提供し、地域の人々の要求及び個別的な要求にも応え、地域で人々が快適に生活できるような支援を行う。



が
出
展
さ
れ
ま
し
た。

今回展示された作品数は65

点。書道、絵手紙、プラモデル、写真、色鉛筆画、手編みのバッグ、刺しゅう、折り紙など、様々な作品が展示されました。

五味(いつあじ)の会の展示会が、7月1日～3日までの3日間、イオン豊科店3階のイオンホールで開催されました。五味(いつあじ)の会(以下、会)とは、豊科病院の入院患者さん、外来患者さん、職員などで構成された展示会を開催する会です。

3日間の延べ来場者数は225名で、同店に買い物に来院された市民の方をはじめ、当院を退院された

**五味(いつあじ)の会
来場者225名 盛況に終わる**

方々、地域の支援者 行政 民生委員 医療 福祉 業界の方々など、たくさんの方々に鑑賞していただきました。

今号では、改めてこの会の成り立ちや趣旨をご説明いたします。

会の発足の経緯について

当院に着任した精神科医から当院は、患者さんが制作された種々の作品を、いつも院内に展示しているが、院内では関係者しか鑑賞しない。院外街に展示し、市民の方をはじめ色々な人に見てもらった方がよい。当院の立地の良さから、患者さんが容易に街へ展示を見に行くことができ、制作者である患者さんの意欲やモチベーションも向上する。病状によって家族との不和が生じた方も少なくないが、患者さんの力作を街に展示することにより、「家族との関係改善や交流も

期待できる」と提案があり、会の発足のきっかけになりました。

会の構成員と実行委員会について

実行委員の精神保健福祉士から、患者さんや障がい者の方だけの催しではなく、当院の職員も一緒にした包括的な催しが望ましい。障がい者と健常者、患者さんと職員といった垣根を無くした会は、共生社会(社会的包摂)インクルーシブともいう(への第一歩となる」と意見があり、出展は患者さんと職員の線は引かずに募集しました。結果、出展者の構成は、患者さんが6



割、職員が4割の構成でした。

また、実行委員も、当院の各部署の職員の他、精神科デイケアの利用者、自立訓練(生活訓練)・

宿泊型自立訓練事業所アルプスホーム」の職員等の有志で構成されました。

令和4年度から、展示会の構想を練っていましたが、新型コロナウイルスの流行真ただ中であり、開催は保留のまま経過。令和5年5月から新型コロナウイルスが第5類になることを受け、3月から実行委員会を何度も開き、準備を進めて来ました。

五味(ごみ)の会の名称について

会の名称の由来ですが、いわゆるぎじす・せそ(砂糖塩酢醤油味噌)を、人生になぞらえて、①楽しむ(あまみ) ②疲れ気味(えんみ) ③哀しみ(さんみ) ④ほろえ味(うまみ) ⑤苦しみ(にがみ)、といった色々な「味」を意味します。ありとあらゆる「味」のある作品を、ありのまま出展、展示する趣旨で、この名称になりました。

作品と展示会の意義について

外来患者さんは、ご自身の趣味の作品を出展され、精神科デイケアの利用者の方は、趣味のものや、デイケア内で制作された作品を出展。職員は趣味の一品。そして入院患者さんは、院内の作業療法で制作された作品を出展されました。

実行委員の作業療法



士は上記の医師のコメントの他、外出による満足感や楽しみの充足。社会的入院患者にとつての生活の質の向上。生きがい。退院に向けたきっかけ作り。社会との再統合。

作品を通して肯定的な評価を受け、自己有能感の回復。ピアサポーターや地域の支援者と繋がる機会。といった様々な効果を得ることができたこと、会のメリットを振り返っています。

来場者アンケート結果

なお、来場された方に「最も心に響いた作品は？」というアンケートを記入していただきました。集計結果は当院精神科デイケアの利用者の方々が、日中活動として制作された、作品名ダンデイスム(最上段写真右手前)でした。この作品は、約6千500のピースを貼り合わせたモザイクアートで、その大きさは圧巻でした。



今後の活動

今後の会の活動ですが、実行委員会は、今回のような展示会をはじめ、カラオケ大会など、様々なイベントを企画していく予定です。次回は令和6年度を予定しております。

各病棟で夏祭り

8月に各病棟において、作業療法の一環として「夏祭り」を行いました。内容は射的と喫茶です。新型コロナウイルスの影響により、これまでは活動を制限せざるを得ませんでしたが、今回から入院患者さんに大勢参加していただきました。

射的は、入院患者さんが、ゴム鉄砲や空気鉄砲を使用し、昔からなじみのあるお菓子の箱やメンコを倒していくレクリエーションです。個人戦で

表彰もあり、小さい

のを倒すと高得点が得られます。結果は

意外にも、女性や高齢の方が高得点を獲得され、会場は大変盛り上がりしました。

喫茶では、県外からスイカのジェラート

を取り寄せ食べていただきました。1個



射的の様子

400円以上する高級ジェラートです。入院中にはなかなか食べることのできないデザートに、患者さんも大満足。皆さんから笑顔があふれていました。

夏祭り期間中は、日常的に行っているストレッチの時間に、夏の歌に合わせて盆踊りを行い、こちらも活気に満ち溢れていました。いずれの企画も、入院生活のリフレッシュになったのではないかと思います。



イシヤル T

私の「心の癒し」は、アニメを見ることです。中でも「名探偵コナン」という作品が好きでよく見ています。この作品は、普段アニメを見ないという方も、一度は見たり、聞いたりしたことがあるのではないのでしょうか。

全く知らないという方もいると思いますので、作品の紹介をしたいと思います。主人公である高校生探偵の工藤新一は、ある事件に巻き込まれ、口封じのために飲まされた薬で身体が



幼児化してしまいます。その後、江戸川コナンと名乗り、本来の姿に戻るため薬を飲ませた黒の組織の行方を追いながら、日常生活で発生する事件を解決していく『というストーリーです』。

現在、単行本は一〇三巻、映画も公開中です。今年の映画は、主人公を幼児化させた黒の組織が登場し、登場人物の一人である灰原哀にスポットを当てたお話です。漫画やアニメで本編を見ていなくても、映画だけで楽しめると思います。

アニメには、名探偵コナンのようなミステリーの他にもファンタジーやギャグ、恋愛、アクションなど様々なジャンルのお話があります。また、五分や十分の短いアニメや話数の少ないアニメもありますので、自分の興味のあるジャンルや生活スタイルに合わせて見ることが出来ます。さらに、笑ったり、泣いたりすることでストレスの発散になりますし、全話見終わると達成感を得られると思います。

まだまだ暑い日が続くと思いますので、しっかりと水分をとり、冷房の効いた部屋でアニメ、映画鑑賞なんてどうでしょうか。私のこの提案が誰かの癒しとなれば嬉しいのです。

「心の癒し」は、日常の中でたまった心の疲れを癒やしてくれる…そんな方法やコツを、当院職員が紹介するコーナーです。

関連施設だより

グループホーム久々の小旅行

5月29日、グループホーム第一飛鳥荘と第二飛鳥荘の入居者の皆さんが、諏訪湖周辺へ合同小旅行に出かけられました。この旅行は、グループホームの入居者の方々が輪番で幹事となり、企画運営される行事です。新型コロナウイルスが原因になり、久々に企画されました。

行程は、安曇野インターから高速に乗り、サービエリアに立ち寄りながら諏訪へ。諏訪大社上社↓高島城↓立石公園↓食堂で昼食↓諏訪湖一周↓諏訪大社下社↓帰路という旅でした。

あいにく雨天でしたが、ソフトクリームを頼張ったり、お土産を買ったりと、出費増の方も！しかし、参加された方から「コロナですと全て我慢して来た。久々のお出掛けは本当に楽し

い！リッ

ッショで

きた。」と

いう声が

聞かれま

した。



高島城

外来 医師担当表

令和5年 8月1日現在

曜日	月	火	水	木	金	土
内科	休 診	休 診	休 診	こまつ まさみち 小松 雅宙 医師	休 診	休 診
精神科①	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	にしざと よしあき 西里 吉昭 医師	こみぶち みつり 五味洸 満徳 医師	おかざき たかし 岡崎 隆司 医師	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	こみぶち みつり 五味洸 満徳 医師
精神科②	かわぶち まさる 川淵 優 医師	なかむら ち え み 中村 千恵美 医師			なかむら ち え み 中村 千恵美 医師	

◎ 受付時間 午前 7:00～正午

◎ 診療時間 午前 9:00～終了まで ※木曜日の精神科は、午前9:30～診療開始

※ 午後は全科休診となります。

※ 日曜・祝日は全科休診となります。

※ご不明な点は受付へご確認ください。

お問い合わせ先…Tel.0263-72-8400



～ 編集後記 ～

さる7月、コロナ禍以降4年ぶりにあづみの祭りが開催されました。今回当院は参加しませんが、全般的に盛況だったようで、ようやく活気のある夏が戻ってきたという感じがします。

5月よりコロナが感染症法上の「5類相当」に引き下げられたため、各地でお祭りや催し物などが再開され、また観光地にも賑わいが戻りつつあるようです。今まで控えてきた分も気分転換！といきたいところですが、実際「コロナ」自体は水面下で第9波を示すように増加傾向との事です。残暑も厳しき折、体調管理には引き続き気をつけましょう。

※表題「雪がた」について

春から夏にかけて北アルプスでは様々な雪形が見られ、当院からは常念岳の常念坊や、蝶ヶ岳の蝶などの雪形を正面に望むことが出来ます。雪形が季節の変化に合わせて融けるように、患者様の病も融ける・・・表題にはそんな願いが込められています。

また、表題の写真は当院屋上から撮影しました。